

**製品名: ABHD12 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06433**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	45kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ABHD12
別名	ABHD12; C20orf22; Monoacylglycerol lipase ABHD12; 2-arachidonoylglycerol hydrolase; Abhydrolase domain-containing protein 12
遺伝子 ID	26090.0
SwissProt ID	Q8N2K0
免疫原	抗血清はヒト ABHD12 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 231-280

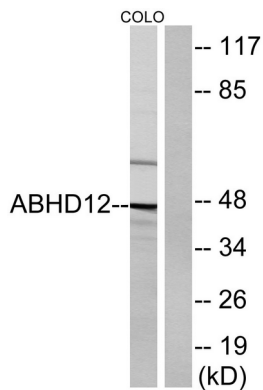
**背景**

この遺伝子は、カンナビノイド受容体 CB1 および CB2 に作用する主要なエンドカンナビノイド脂質伝達物質である 2-アラキドノイル

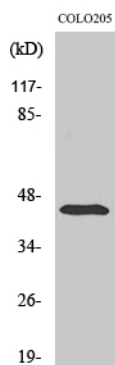
グリセロール (2-AG) の加水分解を触媒する酵素をコードしています。エンドカンナビノイドシステムは、神経伝達、気分、食欲、疼痛知覚、依存行動、炎症など、幅広い生理学的プロセスに関与しています。この遺伝子の変異は、エンドカンナビノイド代謝の先天異常に起因する神経変性疾患、PHARC (多発神経障害、難聴、運動失調、網膜色素変性症、白内障) と関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、2011年1月],触媒活性: 長鎖脂肪酸のグリセロールモノエステルを加水分解する。機能: 2-アラキドノイルグリセロール加水分解酵素活性を有する (類似性に基づく)。エンドカンナビノイドシグナル伝達経路の調節因子となる可能性がある。PTM: グリコシル化されている。類似性: セリンエステラーゼファミリーに属する。,

## 研究分野

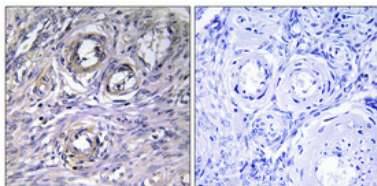
## 画像データ



ABHD12 抗体を用いた COLO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ABHD12 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト卵巣の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。